

北海道・旭川エリア 森林体験モニターツアー

令和4年（2022年）11月17日（木）～18日（金）の2日間で実施しました。

【ツアーの様子】

○IKAUSHI CLASS

ツアー1日目の午前中は、IKAUSHI CLASS に行きました。

木育マイスターの原弘治さんに案内していただき森林散策を行いました。



森林散策の途中では、午後から行う木工作体験のための材料を自らノコギリを使って採取しました。



森林散策後は、薪割り体験・火起こし体験をしました。



〇くるみなの木遊館

午後からは、くるみなの木遊館に移動し、森林散策中に採取した白樺の丸太を使い、グリーンウッドワークでスプーンづくり体験をしました。

まずは、手斧を使い大まかにスプーンの形に削っていきます。



大まかな形に削れたら、クラフトナイフやフックナイフを使って、スプーンの形に削っていきます。



今回のツアー中に完成はできませんでしたが、家に帰って続きを制作することになりました。

○当麻町森林組合 製材工場

ツアー1日目の最後は、当麻町森林組合の製材工場を見学しました。

普段見ることができない丸太から製材までの工程を見ることができて参加者も満足の様子でした。



○株式会社カンディハウス

ツアー2日目の午前中は、旭川家具の代表する木製家具メーカーのカンディハウスさんに行きました。まずは、旭川家具の歴史やカンディハウスの成り立ちについて、職員の方から説明がありました。



説明を聞いたら、さっそく工場を案内してもらいました。

まずは、突き板についての説明を受けながら、突き板ができるまでを見学しました。



次に実際に突き板が張られる工程を見学しました。



材料置き場を見学した後は、椅子ができるまでの工程を見学しました。



工場見学の後、家具（マルチスツール）づくりを体験しました。



○旭川デザインセンター

ツアー2日目の午後は、旭川デザインセンターに行き、各家具メーカーの説明をしてもらいながら、ショップを見学しました。旭川デザインセンターでは、2022年秋冬のシーズン企画展として「Tiny & Cozy」が開催されていました。タイニーは「小さな」、コージーは「心地よい」という意味で、旭川家具の持つ、暖かさや優しさを活かした心地よい居場所の数々を、実際に腰をかけながら体感してもらいました。



ツアーの最後は、き花の杜でおみやげを買って、無事にツアーは終了しました。